

平成 30 年度 事業計画

公益社団法人 日本カーリング協会

平成30年度 事務局 事業計画

1. 総会・理事会等開催

(ア) 社員総会の開催

① 定時社員総会の開催 日時：平成30年7月7日(土) 岸記念体育会館

(イ) 理事会の開催

① 第1回理事会 平成30年6月16日(土) 岸記念体育会館

② 第2回理事会 平成30年7月7日(土) 岸記念体育会館

2 監査会の開催

① 平成29年度 会計監査(東邦監査法人) 開催日程：平成30年6月5日(火)-6日(水)

開催場所：岸記念体育会館 JCA事務局

② 平成29年度 監査会 日時：平成30年6月11日(月)~13日(水)(左記の1日) JCA事務局

3 上部団体対応

① 公益財団法人 日本オリンピック委員会

各種提出書類対応 事務局長会議 NF・JOC 強化連携会議 他 委員会対応

② 公益財団法人 日本スポーツ協会 各種提出書類対応 事務局長会議 記者クラブ対応 他

4 補助事業の申請・実施・報告業務

日本スポーツ振興基金(JSC) スポーツくじ助成 等

(申請事業数 36 申請総事業費額)

5 世界カーリング連盟対応

加盟費等支払い 提出・申請書類各種対応 各種大会エントリー ユニフォーム申請 等

6 広報活動

① ホームページの維持・更新業務

② フェイスブックの維持・更新業務

③ ホームページ上でのアーカイブの充実

④ 協賛企業対応

・ ミズノ(代表ユニフォーム制作 納品スケジュール作成)

・ 全農(協賛内容の見直し 契約)

・ 日本航空(協賛内容の見直し 契約〔終了〕)

・ カーベル(協賛内容の見直し 契約)

・ athome(協賛内容の見直し 契約〔終了〕)

⑤ 新規協賛企業獲得

7 会計業務

日常会計業務(銀行残高確認(資金繰り) 会計ソフト入力)

月次(四半期)試算表作成 各種取引業務(契約書管理 支払い) 決算業務

納税 給与計算 社会保険手続き 他

8 競技者登録 登録証の発行

9 全国事務局長会議の開催 平成30年9月1日開催予定

10 事務局移転準備

・ 移転準備スケジュールの作成

・ スポーツ協会提出 CAD 図面(事務所レイアウト案)作成・提出

・ 事務所備品 購入またはリース準備

注>引越し期間 2019年5月~7月末日まで

11 その他

平成 30 年度 総務委員会 事業計画

1 委員会の開催

- ・年6回程度の web 会議開催を基本とし、それ以外にも必要に応じ適宜開催。
- ・集合会議は2回開催。
(30年度の事業計画等が承認される定時総会に合わせて開催し、30年度の活動、事業実務の詳細について協議。又年度末前に31年度事業計画の詳細と進め方について協議。)

2 役員選考委員会及び役員選考についての検証

昨年度設置の役員選考委員会とその役員等選考について検証し理事会へ報告。

3 有料観戦大会での調査及び検証

- ・本年度開催予定の大会等でマーケティング特別委員会が有料観戦に指定する大会等について現地調査、検証を実施。
有料観戦化（付加価値を含む）を継続して行く為にマーケティング特別委員会及び理事会へ報告及び提言を行う。

4 諸規定の改訂及び起案作業の実施

- ・公益法人として内部統制の強化を図るため、既存規定の見直しや、新たな規定の起案、策定作業を実施。
- ・今期は、昨年の「内閣府検査」で指摘のあった「公印規程（公印取り扱い規程）」と「事務局関連規定」を主な検討項目とする。

5 次期事務局長選任プロジェクトの遂行

- ・昨年度理事会で承認を受けた「次期事務局長」について計画通り来年度（2019年）就任に向け、本年度報酬の提示を行う事になっており、所管委員会としてサポート。

6 事務局職員の給与、報酬（専務理事専決事項）の検討

- ・事務局職員の給与、報酬面において待遇改善の検討を行い、専務理事（決済権者）へ提言を行う。

7 登録証の発行（事務局依頼）

- ・登録料の振込が確認された加盟協会から随時発行。

8 その他

- ・全国事務局長会議（JCA 主催）に委員長又は副委員長を派遣し、事務レベルでの提案等について検討、改善等協力を行う。
会議での意見や提案等については理事会へ報告する。
- ・各専門委員会及び地方協会、大会会議等に、web 会議の積極的活用を引き続き提唱し、経費削減と、効率的な利用の促進を図る。
- ・JCA 組織図（内閣府等への提出、公表等）の作成。
- ・専門委員の改選年度の為、JCA 共通名刺の案内。

9 平成 30 年度総務委員会予算（案）

内 容	金 額
委員会経費	
会議室利用料（18,000×2回）	36,000
参加旅費交通費 2回	400,000
事務経費	10,000
経費計	446,000
事業費	
登録証発行、共通名刺作成	25,000
大会及び会議派遣費 （有料大会 JCC 等） （事務局長会議）	250,000
事務局長選任プロジェクト （会議費、交通費等）	100,000
事業費計	375,000
計	821,000

平成30年度 指導普及委員会 事業計画

平昌オリンピックにて男子20年ぶり出場、女子が念願の銅メダル獲得でカーリングが多くのメディアに連日大きく報道され多くの方に認知されました。普及の最大のチャンスであります。計画的・継続的なカーリングスクールと指導者の養成を行ない、カーリング競技の普及と競技力の向上に努めます。

1. 委員会の開催

委員会の活性化とカーリング人口拡大のため集合委員会を年2回、ウェブ会議を多く取り入れる。

- 第1回指導普及委員会（主に事業計画の確認および具体的内容の検討）
日時：平成30年7月8日（日）
- 第2回指導普及委員会（主に事業の進捗状況確認および次年度計画の検討）
日時：平成30年12月 ※指導普及委員会開催に先立って正副委員長会議を開催予定。
- 必要に応じweb会議を開く。

2. 公認カーリング指導員の養成

（公財）日本体育協会の委託を受けて開催するが、今年度は上級指導員養成講習会を開催する。

公認カーリング上級指導員専門科目養成講習会

期日：30年10月6日（土）～8日（月）3日間

会場：みちぎんどリームスタジアム

対象：初級指導員取得後3年以上

参加人数：20名

3. JCAカーリングスクール開催及び公認指導者トップアスリートの活用促進

- カーリングの普及と指導力の向上を目指して指導員・上級指導員の協力を得て

1. DAPの補助金を利用しJCAカーリングスクールを行いながらオリンピック応援感謝祭（仮称）を開催する。

JCAスクールカーリング1

開催地 長野県軽井沢町 軽井沢アイスパーク

開催日 30年6月2日（土）～3日（日） 主管 長野県カーリング協会

受講対象者：未経験者及びレベルアップコースとする。

講師 平昌オリンピック出場選手

受講者 200名予定

JCAスクールカーリング2 希望があれば検討

4. カーリングの普及啓発

カーリング競技の未導入県や未組織県に対し、カーリング情報の提供やミニカーリングスクール開催。

5. （公財）日本スポーツ協会会議への参加

全国指導者連絡会議

指導者養成講習説明会

その他

6. 公認指導者養成講習新制度の準備

31年度から新制度により指導者養成講習会が開催されるため、新カリキュラム作成部会にて新カリキュラム作成。

7. 第3期指導普及活動計画作成

平成31年度4月1日から平成35年度3月31日まで
活動計画作成部会にて作成。

8. 2018世界ミックスカーリング選手権大会 日本代表選考会

開催場所 長野県軽井沢町 軽井沢アイスパーク

開催日 8月24日（金）～26日（日）

募集 10チーム予定

平成30年度 競技委員会 事業計画

- ・日本選手権大会その他の競技大会の開催
- ・競技力向上事業の実施及び調査研究
- ・審判員の資格認定
- ・国際競技大会等の開催並びに国際競技大会への代表参加者の選定及び派遣

①競技委員会の開催〈1,050千円〉

- ・第1回委員会〈450千円〉
日 時：平成30年9月29日（土）～30日（日）
場 所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
- ・第2回委員会〈300千円〉
日 時：平成30年10月27日（土） [東京都]
場 所：東京都 八重洲プラザ
- ・第3回委員会〈300千円〉
日 時：平成31年4月13日（土） [東京都]
場 所：東京都 八重洲プラザ

②審判員検定講習会及び研修会 〈450千円〉

- ・A級研修会〈250千円〉
開催日程：平成30年9月29日（土）～30日（日）
開催場所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
- ・A級派遣研修〈100千円〉
開催日程：平成30年12月12日（水）～16日（日）
開催場所：軽井沢国際大会（長野県：軽井沢町）
- ・A級検定講習会（隔年実施～本年未開催）〈0千円〉
~~開催日程：平成 年 月 日（土）～ 月 日（日）~~
~~開催場所：_____~~
- ・B級検定講習会〈100千円〉
開催日程：平成30年11月24日（土）～25日（日）
開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク（第27回日本ジュニア）
- ・C級検定講習会
開催日程及び場所 各都道府県協会にて決定のうえ実施

③各種大会の開催日程及び開催場所

○2018日本代表決定戦

開催期間：平成30年5月17日（木）～20日（日） ※競技方法等～強化委員会
開催場所：（北海道北見市）：（アドヴィックス常呂カーリングホール）

○第14回日本車椅子カーリング選手権大会

開催期間：平成30年5月25日（金）～27日（日）
開催場所：新潟県新潟市：アサヒアレックスアイスアリーナ
参加チーム：6チーム 北海道3、本州3

○第27回日本ジュニアカーリング選手権大会

開催期間：平成30年11月20日（火）～25日（日）
開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク
参加チーム：男女各8チーム

出場枠：北海道：3 東北：1 関東中部：2 西日本：1 開催地推薦：1

※出場を辞退する場合は、平成30年9月15日までに「出場辞退届」を日本カーリング協会長宛に提出すること。

※出場辞退があった場合の他ブロックへの割当は、次の順番とする。東北⇒北海道⇒関東中部

※初日は公式練習及びチームミーティング等の実施

○第9回全日本大学カーリング選手権大会

開催期間：平成30年11月30日（金）～12月2日（日） 開
催場所：北海道妹背牛町：妹背牛町カーリングホール

- 第36回日本カーリング選手権大会（男女）
- 開催期間：平成31年2月10日（日）～17日（日）
- 開催場所：北海道札幌市：どうぎんカーリングスタジアム
- 参加チーム：男女各9チーム
- 北海道3・東北1・関東1・中部1・西日本1・平昌オリンピック出場チーム・前年度優勝チーム

- 第14回全国高等学校カーリング選手権大会
- 開催期間：平成31年2月14日（木）～17日（日）
- 開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム
- 参加チーム 男女各5チーム
- 北海道：1 東北：1 関東中部：1 西日本：1 開催地：1

- 第12回日本ミックスタブルスカーリング選手権大会
- 開催期間：平成31年3月12日（火）～3月17日（日）
- 開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク
- 参加チーム：**要検討**

前年度優勝 前年度準優勝 強化枠
北海道： 東北： 関東： 中部： 西日本：
 ※開催地推薦は、ブロック出場枠に含める。

- 第16回日本シニアカーリング選手権大会
- 開催期間：平成31年3月7日（木）～10日（日）
- 開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム
- 参加チーム：
 - 男子：北海道4、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計10チーム(2ブロック)
 - 女子：北海道2、東北1、関東中部1、西日本1、開催地1 計6チーム(総当たり)
 - ※11月末日までに各ブロックからの出場意向を聴取決定。
 - 欠場枠＝前年度の対象年齢登録者数によって割振りを行う（北海道は優先順位1位）。
 - ①世界選手権への出場権を優勝チームに優先的に与えることとするが、優勝チーム単独で参加できない場合は、2位、3位チームまでその権利を与える、或いは1位、2位、3位の選手による混成チームでの参加も可とする。
 - ②日本協会として派遣費用の一部助成

④その他の大会

- 2018軽井沢国際カーリング競技大会
- 開催期間：平成30年12月12日（水）～16日（日）
- 開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク

⑤平成31年度事業

- 第15回日本車椅子カーリング選手権大会
- 開催期間：平成31年5月24日（金）～26日（日）（JWCAにて最終決定）

- 開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム
- 参加チーム：6チーム 北海道3、本州3

⑥競技規則編纂及び印刷

- ・編纂委員会を設置
- ・WCF総会後の最新情報による現行ルールに基づいた競技規則（冊子）の印刷1,000部～1,500部
- ・Web版の検討

平成 30 年度 強化委員会 事業計画

1. 強化事業の目標、課題

強化事業における最大の目標は、カーリング日本代表チームがオリンピック冬季競技大会、世界カーリング選手権大会において金メダルを獲得することである。

今年度の目標を、

- 1) 2019 年世界女子カーリング選手権大会プレーオフ進出、
- 2) 2019 年世界男子カーリング選手権大会プレーオフ進出、
- 3) 2019 年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会プレーオフ進出、
- 4) 2019 年世界ジュニアカーリング選手権大会男女出場、

とする。

強化方針は、各カテゴリーの強化チーム海外強化合宿に派遣し、国際競技力を向上させることである。ミックスダブルス、ユニバーシアード、ジュニアのカテゴリーのチームの国際競技力向上を図る必要がある。より多くのチームを海外強化合宿に派遣し、海外チームとの対戦を増やし、国際経験を積ませられるように環境を整備することが課題である。

2. 平成 30 年度強化事業

上記の目標に向けた強化事業を実施する。

- 1) 強化チーム・選手の指定
- 2) 国内強化合宿の実施
- 3) 夏季国内合同強化合宿の実施
- 4) 冬季国内合同強化合宿の実施
- 5) 夏季国内ジュニア合同強化合宿の実施
- 6) 国際大会日本代表選手選考
- 7) ユニバーシアード冬季競技大会日本代表選考
- 8) 海外強化合宿の実施（秋：カナダ，冬：ヨーロッパ）
- 9) 国際大会への日本代表チームの派遣，強化スタッフ，サポートスタッフの派遣

以上

3. 平成 30 年度強化事業予算

- 1) 強化委員会開催年 12 回 支出予算 150 万円（財源 会費等）
- 2) 強化事業（別紙，スポーツ振興センター助成事業）

1. 委員会の開催

2. ドーピング検査事業

- toto 費用申請
- JADA と連携し検査立案
- 大会開催県協会と連携し、試合日程を確認、ドーピングコントロールステーションの設置、シャペロンの確保。検査、大会運営がどちらも問題なく進行するための調整
- 検査立会い

3. アンチ・ドーピング啓発事業

① 研修会について（JADA 講師派遣希望は以下の通り）

- JCA 男女強化指定選手研修合宿
 - ジュニア男女強化指定選手研修合宿（現在 JADA に確認中）
 - 全国高等学校カーリング選手権大会出場選手
- JADA 講師派遣が困難な時は JCA 医科学委員が講師となる予定

② 横断幕使用（JADA から借用）

- 日本カーリング選手権大会
- 日本ジュニアカーリング選手権大会
- 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会
- 全国高等学校カーリング選手権大会
- 全日本大学カーリング選手権大会

③ 各ブロック大会で医科学委員がアンチ・ドーピングの情報提供（可能であれば研修会の開催）、TUE 指導

④ 選手権大会でプログラムに「アンチ・ドーピングのすすめ」の掲載

4. 医科学情報提供

各都道府県協会への連絡、ホームページへの掲載

5. 医科学に関連する各講習会へ参加と情報提供

- 加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会への参加（2 回/年）
- 加盟団体スポーツドクター代表者会議
- アスレティックトレーナー連絡会議
- JADA ヒアリング
- アンチ・ドーピング教育活動の講師養成講習会
- アンチ・ドーピング定期研修会

6. トレーニング情報の提供

7. その他

- 選手権大会中の医療体制について
- 2021 年には WADA により「教育・啓発の国際基準」が発効予定。競技団体のアスリート（検査対象者）やサポートスタッフに対して適切な教育活動の実施、ジュニア/ユース層に対して教育活動の実施が求められている。JADA は教材の提供（トップアスリート用、ジュニア用、サポートスタッフ用、保護者用）、教育人材の育成、研修会への講師派遣およびアウトリーチの運営をサポートする予定なので、そのサポートを受けながら、日本カーリング協会のアンチ・ドーピング教育、啓発活動年間計画の作成、実施後の評価を行う。

平成 30 年度 コンプライアンス特別委員会 事業計画

1、委員会の開催

基本的には web 会議を適宜開催し、集合会議は年 1 回を予定。

また、コンプライアンス違反等の重大な案件が発生した場合、必要に応じ関係者へのヒヤリング等を実施し、委員会にてその調査結果をまとめ理事会に報告する。

2、上部団体（JOC、日体協）及び関連団体（JSAA）等が開催する研修会への参加

上部団体の研修等に積極的に参加し、スポーツのインテグリティ保護・強化に向けた情報入手と知識習得に努め、協会関係者へより一層の啓発活動を行う。

3、コンプライアンスに関するセミナーの開催

- ・合同強化合宿等（ジュニア強化選手も含む）で、コンプライアンスに関するセミナーを開催し、「日本代表及び強化選手の行動規定」等への理解と認識を高めるとともに、アスリートとしてのスポーツ・インテグリティ保護・強化への取り組みを推進する。

- ・協会役員等を対象としたコンプライアンス&ガバナンスに関するセミナーを開催し、内部強化をはかる。

4、公認カーリング指導員養成講習会における「コンプライアンス&ガバナンス」講習の実施

指導者としての、スポーツ・インテグリティ保護・強化への取り組みを推進する。

5、協会ホームページを活用した啓発活動

協会ホームページを活用し、「スポーツ・インテグリティ」を脅かす反社会的勢力との関わりの禁止、違法賭博等違法行為への関わりの禁止、人種差別の禁止、アンチハラスメント、アンチドーピング、暴力根絶等への取り組みを推進する。

6、ヘルプラインの創設を検討

協会ホームページのトップページに通報窓口を設ける。

但しこの窓口は、ハラスメントや暴力行為等の「インテグリティ」が脅かされた事案についての相談窓口とし、アスリートの要望等を受ける窓口とは切り離す。

平成 30 年度コンプライアンス委員会予算（案）

・ヒヤリング及び集合会議等を開催した場合の参加交通費	200,000 円
・合同強化合宿等の講師派遣費用（旅費）	100,000 円
・指導員養成講習会の講師派遣費用(旅費)	100,000 円
・上部団体の講習会等の参加旅費	100,000 円
合 計	500,000 円

平成 30 年度 マーケティング特別委員会 事業計画

初期活動計画の目標の再確認

年間 100 万円の自主財源を捻出したい！ →
公認グッズ展開での収益（現在 1 社→次年度 5 社）
試合観戦有料化に伴う収益
ただし事務局の担当責務の軽減をもちながら

次年度のためにも極力在庫を持たない物販を展開します。
日本選手権など NF としての試合保護の観点でも有料化に対応します。
加速したカーリング人気を持続したく、アウトソーシングを図ります。
総務委員会と連携し、委員を募集することを進めたいと想います。

次年度予算

集合会議費、現地出張費 2 回×50,000 円=100,000 円
グッズ展開費 200,000 円

アスリート特別委員会 事業計画

- 1 委員会の開催
WEB 会議の開催（年 6 回程度）
年 2 回の集合会議（6 月・9 月を予定）
- 2 アスリートからの意見を集約、必要に応じて理事会に報告
日本協会ホームページにアドレスを設置する
強化合宿での特別委員会の周知
- 3 キッズクリニックの開催
開催予定：6 月下旬（北見市常呂町）
指導ではなく、普及を目的としたキッズ（初心者）とトップアスリートの交流会
- 4 JOC 研修会等への参加

平成 30 年度 アスリート特別委員会 予算（案）

委員会経費			
	委員会交通費	150,000×2 回	300,000 円
	会議室利用料	10,000×2 回	20,000 円
事業費	キッズクリニック		
	カーリングホール借上げ		50,000 円
	運営費		250,000 円
計			620,000 円

平成 30 年度 国際関係特別委員会事業計画

1、委員会の開催

- ・集合会議（年 2 回程度：AGA 直前・OpenMeeting 直前）。
- ・Web 会議（Skype 等。随時）。

2、WCF 等団体との折衝

- ・依頼要請等発生により随時。

3、JCA 各委員会との連携

- ・既存の国際事業について、事務局・各委員会と管掌範囲の調整。
- ・Annual General Congress (AGA: 年次総会) 等に向けた JCA 意思確認。
- ・その他随時

4、WCF 関連会議への評議員派遣

- ・AGA (2018/09/06-09 @Budapest, Hungary)。
- ・Open Meeting (恐らく 2019/03 (WWCC@Silkeborg, Denmark 時))
- ・PA Zone Meeting (恐らく 2018/fall (PACC 時 (開催地未定)))

5、国際関係力強化への検討

- ・WCF 関連イベントへの派遣。
- ・国際審判員資格に関する調査。
- ・JOC や他競技 NF との連携。

6、平成 30 年度国際関係特別委員会予算（案）

内 容	金 額
委員会経費	
会議室利用料（18,000×2 回）	36,000
参加旅費交通費 2 回	200,000
事務経費	10,000
経費計	246,000
WCF 関連派遣費用（航空券・宿泊）	
AGA 派遣	900,000
OpenMeeting 派遣	500,000
PA Zone Meeting 派遣	300,000
派遣費計	1,700,000
計	1,946,000